

清流たより

【3月号】



今月のカレンダー

日	曜日	行事予定
1	土	
2	日	佐川町虐待防止研修会（佐川町文化センター、午後）
3	月	精神担当者会（石川記念病院、14:00-16:30）
4	火	広域食改協議会第2回研修会（佐川町健康福祉センターかわせみ、9:00-15:00） 中央西管内地域職域連携推進協議会（所2階会議室、18:30-20:30）
5	水	特定健診等普及研修会（ふくし交流プラザ、10:30-15:35）
6	木	犬・猫保護収集（日高村・佐川町・越知町・仁淀川町）
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	中央圏域歯科・栄養合同研修会（中央東）
11	火	エイズ・肝炎検査（13:00-15:00※1）、不妊相談（13:00-15:30）
12	水	第2回療育支援学習会（2階会議室、13:30-16:00） 犬・猫保護収集（土佐市・春野町）
13	木	医療連携を考える勉強会（佐川町健康福祉センターかわせみ、18:30-20:30）
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	中央西管内地域ケア整備構想説明・講演会（いの町すこやかセンター、18:30-20:30）
18	火	6市町村広域、食改の養成協議（9:30-11:30） 犬・猫保護収集（日高村・佐川町・越知町・仁淀川町）
19	水	
20	木	春分の日
21	金	
22	土	
23	日	
24	月	犬・猫保護収集（いの町）
25	火	エイズ・肝炎検査（13:00-15:00※1）、エイズ検査（夜間（17:30-18:30※2） 不妊相談（13:00-15:30）
26	水	犬・猫保護収集（日高村・佐川町・越知町・仁淀川町）
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	

注1:エイズ検査のみ電話予約が必要です。注2:検査日の前週の日曜日まで電話予約が必要です。

3月1日(土)から7日(金)は 子ども予防接種週間です

4月からの入園・入学に備えて、必要な予防接種をすませ、病気を予防しましょう。

特に4月に小学校に入学されるお子さんで、平成19年4月以降、麻しん・風しんの予防接種をまだ受けていない方は、是非この機会に受けましょう。【2回目（第2期）の予防接種】

☆麻しん・風しんワクチンはなぜ2回接種なの？

- ① 1回目の接種で免疫がつかなかったお子さん（数%）に免疫を与えます。
- ② 1回目の接種後、その免疫が減弱したお子さんに再び刺激を与え、免疫を強固なものにします。
- ③ 1回目に接種しそびれたお子さんにもう一度、接種の機会を与えます。

医療連携を考える勉強会

～ 今なぜ連携か ～

住民が安全、安心で質の高い医療が受けられるよう、医療機関の連携を推進することを通じて、地域において良質で切れ目のない医療を提供することを目指して、関係者による医療連携の現状と地域連携クリティカルパスについて理解を深めることを目的とした勉強会を開催します。

■日時 3月13日(木) 18:30-20:30

佐川町健康福祉センター
■場所 「かわせみ」高岡郡佐川町乙2310

①医療連携の状況について（中央西福祉保健所管内医療機関を中心に）
報告者：高知県中央西福祉保健所

②地域連携クリティカルパスを知る
報告者：高知県中央西福祉保健所

③情報提供「糖尿病地域連携パスの取り組みについて」

■糖尿病診療の現状と課題
報告者：高知赤十字病院 第六内科部長 吉本幸生 氏

■糖尿病地域連携パスについて
報告者：高知赤十字病院 本館6階病棟看護師長 吉永恵子 氏

■共催：高知県中央西福祉保健所・高知市医師会・吾川郡医師会・高岡郡医師会 ■対象：高知市・吾川郡・高岡郡医師会管内の医療機関等
■申し込み、問い合わせは：高知県中央西福祉保健所 地域支援室 市村・片岡まで TEL0899-22-1241

今月の注目情報

2ページ目

血液が足りません！

1月から4月は、例年血液が不足します。国内自給を達成するため、献血へのご協力をお願いします。



献血に御協力ください

献血に関する問い合わせ
食品・衛生課 TEL0889-22-2588

医療機関で使用する血液の量が年間を通して一定であるのに対し、献血の御協力には季節的な変動があるため、一時的に血液が不足することがあります。1月～4月は例年血液が不足する時期です。血液は長期保存ができないため、この時期の御協力を特にお願いします。

また、献血された血液からは「輸血用血液製剤」（赤血球製剤、血漿製剤等）及び「血漿分画製剤」（免疫グロブリン製剤等）が製造されます。前者はすべて国内の献血によってまかなわれておりますが、後者のうち、免疫グロブリン製剤、アルブミン製剤については、それぞれおよそ9%、45%を輸入にたよっています。

国が目指している国内自給を達成するため、より一層の献血への御理解と御協力をお願いしています。

【高知県内の献血場所】

- ・献血ルームやまもも（高知市本町1-1-3朝日生命高知本町ビル2F）
9：30～12：00、13：30～17：45
電話088-822-5454
- ・献血バス(3台) 予定は高知県赤十字血液センターのウェブサイト
(<http://www.kochi.bc.jrc.or.jp/main.htm>) を参照



献血推進キャラクター
「けんけつちゃん」

平成19年度 第2回

子どもの療育支援学習会

テーマ

「発達障害児の就学支援から関係機関の連携や役割を考える」

日時：平成20年3月12日(水)13時45分～16時（13時30分受付）

会場：中央西福祉保健所2階会議室

講師：仁淀川町立長者保育所 保育士 神谷良子氏

演題：「Aちゃんの笑顔に！ありがとう」（就学までの支援）

助言者：療育福祉センター発達支援部チーフ 田村謙二氏

対象：中央西福祉保健所管内の市町村保健師・保育所・幼稚園・学校関係者等

申込み及び問い合わせ先：中央西福祉保健所 TEL0889-22-1249

平成20年3月5日(水)までに障害課（担当：樋口）へ。

生後91日以上の犬は狂犬病予防法に基づき「登録」、**狂犬病** 「毎年1回の予防注射」をしなければなりません。

狂犬病は狂犬病ウイルスによって起こり、人を含めた全ての温血動物が感染します。発症した動物の唾液中にはウイルスがたくさん含まれていて、咬まれることによって感染します。ウイルスは傷口近くの神経を伝って脳へ侵入し、興奮・麻痺・けいれん等の症状を起こします。

日本では昭和25年に制定された狂犬病予防法によって、国内の犬の登録及びワクチン接種と輸出入時の検疫が義務づけられてきました。このため昭和32年以降国内では狂犬病の発生はありません。しかし、海外に目を転じると、依然として多くの国で、

人、犬、猫、家畜やあらいぐま、きつね、スカンクなどの野生動物の感染が報告されています。近年のペットブームなどによりこれらの動物を身近に飼う人が増え、狂犬病が日本に侵入した場合、人に感染する危険性もますます大きくなってきているといえるでしょう。狂犬病が日本に侵入しても、70～80%以上の犬が予防接種を受けていれば、国内における狂犬病の再流行は未然に防げるといわれていますが、現在のところ十分とはいえないのが現状です。犬の登録と狂犬病予防注射を受けることは飼い主の義務です。